

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年8月14日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890700016		
法人名	株式会社 フレンド		
事業所名	ふれんど小規模多機能施設 結城	ユニット名	—
所在地	〒307-0001 茨城県結城市大字結城11766-3		
自己評価作成日	平成23年12月13日	評価結果 市町村受理日	平成24年7月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0890700016&amp;SCD=730&amp;PCD=08">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0890700016&amp;SCD=730&amp;PCD=08</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年2月8日	評価確定日	平成24年7月12日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>月に1度はお弁当をもって外出する行事を取り入れています。 その他にもボランティアの方々に来て頂き、歌や、踊りを披露して頂いたり2~3ヶ月に1回は地域の方を招待する機会を設けています。 今年からは、夏祭りなども地域の方にも来て頂きご利用様と交流を取って頂いています。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者や職員は事業所理念の中にある「地域と連携交流を取りながら利用者様が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮していける様支援して行きます」を第一義的に考え、事業所の運営に取り組んでいる。 歌や踊り、習字の定期的なボランティアの来訪があるほか、事業所の運動会や夏祭りに地域の人々を招き交流を図っている。</p>
---

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を新しく作り施設内に貼り職員間で共有しているまた地域住民の方々と交流を取りながら実践に繋げて行きたい。	小規模多機能型居宅介護事業所の役割を意識して管理者と職員で話し合い、新しい理念を作成している。 理念を玄関や居間に掲示し、毎日の朝礼時に職員で唱和している。 ケース検討に於いても理念にある「利用者が住みなれた地域で自分らしく安心して暮らしていける様支援」を一義的に考え、実践につなげるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ボランティア来所時に地域の方を招待している。地域の行事にも参加し交流を図っている。	町内会に加入しているが、現在のところ町内会の活動に参加する機会は少ない。 事業所の夏祭りや運動会などの行事に町内会や老人会の人々に参加を呼びかけ、利用者が地域の人々と交流を図れるように努めている。 歌や踊りを披露するボランティアや習字を教えてくれるボランティアの定期的な訪問があるほか、中学生のボランティアや高校生の体験学習を受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	フレンド職員の勉強会に参加し各事業所にて再度ミーティングし地域の方との勉強会を行っていかれたらと思っています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在の様子や利用状況、今後の活動内容の報告を行っています。ご家族様にも意見を頂き対応出来る事はすぐに対応しています。又家族同士が困難な事等意見交換をしています。	運営推進会議は2ヶ月に1回家族等の代表や市職員、民生委員、老人会会長、事業所職員で開催している。 会議では利用状況や活動状況を報告したり職員研修の報告をしている。 委員から出た意見を受けて、利用者の散髪のために理・美容師に来訪してもらうなど、サービスの向上に活かしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	等に家族様との会議等に参加して頂き、また連絡を取り事業所の実情などサービスの取組みを伝え市町村の研修にも参加しています。	市主催の研修会に職員が交代で参加している。 管理者は困難事例を地域包括支援センターに相談するなど日頃より協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしないケアに取り組んでいますが、施設が通行量の多い道路沿いに立置している為時間帯によって利用者様に危険が及ばないように玄関を施錠【市役所了解済】	身体拘束をしないケアに関するマニュアルを作成するとともに内部研修を実施し、職員は身体拘束にあたる具体的な行為やその弊害を理解して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 事業所は車の通りの多い道路に面しているため、帰宅願望が強い利用者の利用時には家族等に説明のうえ承諾を得て玄関を施錠するとともに、市に報告している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法等についての研修等に参加し事業所内での勉強会を行い虐待が無いよう注意を払っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度について必要性を学び活用出来る様に支援して行きたいと思っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にサービス内容の説明を行い、利用者様、家族様よりアセスメントを頂いています。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様、家族様と積極的に交流を行い信頼関係を築ける様に務めています。	玄関に意見箱を設置している。 家族等からは連絡帳を通じて意見や要望を聴くようにしている。 職員は家族等の来訪時には話をよく聴くように努め、家族等から出た意見や要望を申送りノートやミーティングなどで共有し、改善すべき点は改善につなげている。 苦情相談受付窓口として2ヶ所の第三者機関を玄関に掲示しているが、重要事項説明書に記載するまでには至っていない。	重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を記載することを提案する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や会議等を利用し、職員の意見や提案を聞く機会を設けています。	月1回職員会議を開催し、職員から出た意見や提案を運営に反映させている。 管理者は日頃から職員に対して意見や提案が出せるような人間関係づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の都合に合わせて時には勤務体制を調整したり、職員一人一人が明るく働きやすい職場づくりに努めています。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県、市他事業所、フレンド社内研修等に参加を薦め職員の向上を目指している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	職員の技術向上の為研修や勉強会への参加を薦めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約時にアセスメントを行い、利用者の状態又は家族内での様子などの聞き取りを行っている。なるべく利用者様にお会いし話をする機会を作っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	他職種間（看護、介護、ケアマネジャー）で連携を図り、家族様の要望を専門的分野からサポートすることで信頼を得ます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前に自宅や、病院へ訪問し、家族や、本人の要望を伺い又病院からの情報を提出してもらいます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の残存機能を見極め、職員と共に作業等を行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様とご家族様との交流の場を設け訪問時等に一日の様子や状態等の報告を行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様が住み慣れた場所で馴染みの方々と交流し暮らしていける様に、レクリエーションやリハビリ等を通じて自立支援を行っています。	職員は利用者から話を聞いて馴染みの人との関係把握に努めている。 時折利用者を訪ねて地域の知人が来訪し親交を深めており、職員はその関係の継続を支援している。 職員は利用者が自宅で地域社会との係わりが継続できるように、利用者の近所の住民に声をかけるなどしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者様の間に入り交流の橋渡しをしています。レクリエーション等ではチームを作り利用者様が協力し合って楽しく参加できるよう工夫しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も自宅又は施設に顔を出し、ご本人様やご家族様の様子を伺い相談等を受けています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様の負担にならないよう出来る事はご本人に行って頂いております。	利用者から聞いた情報は申し送りノートに記録し職員で共有している。 希望や意向の把握が困難な利用者の場合は、利用者の生活歴や家族等から話を聞くなどで、把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活環境、生活歴を御家族に聞きサービス等を利用されていた方は、前ケアマネジャーから情報をもらっています。			
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	家族様、本人様と話をし、心身状態、生活状態を把握しています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議を行い本人様や、家族の希望を聞き意見を反映している。また毎月のケース会議で介護職員より意見を聞き介護計画にいかしている。	長期計画は1年で作成し、6ヶ月後にモニタリングを実施している。 利用者の体調や状態の変化に合わせて担当者会議を開き、現状に即した介護計画に見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の支援経過及びケース記録を記入し、個人個人の情報の共有をし支援に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の状況により、訪問、通所、宿泊等を組み合わせ柔軟な対応をしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々、民生員、老人会、市包括センター、ボランティアの人々と交流を持ちながら支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族様の要望に対応できる様に常に医療機関と良い関係を築き利用者様に同行する様支援しています。	利用者が希望するかかりつけ医への受診は家族等が付き添っているが、依頼があれば職員が付き添い結果を家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の関わりの中で常に状態を観察し、変化のある時は、看護師に連絡し対応して頂き、家族に連絡を取り適切な受診が受けられるように支援します。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に病院に細に出掛けて行き、情報収集を怠らず病院関係者とも良い関係を築き、家族様の相談にも対応し支援しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	個人個人話し合いを持ち、できる事出来ない事を納得の得られるように説明しお互いに考え、本人にとって最良の機関を紹介しています。	重度化や終末期の事業所の対応方針を管理者や職員、医療関係者で話し合って定めるまでには至っていない。	重度化や終末期の事業所の対応方針を管理者や職員、医療関係者で話し合い明文化するとともに、利用者や家族等に説明して同意を得ることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故に備えて職員の勉強会、研修を開いています職員もマニュアルを把握する様に務めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作り昼、夜を想定し避難訓練の指導を受けています。職員もマニュアルを把握しています。	消防署立会いのもと夜間想定を含めた避難訓練を年2回実施しているが、訓練で明らかになった反省点や課題を記録に残すまでには至っていない。 避難訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 災害時に備えて飲料水を備蓄しているが、非常食を十分に準備するまでには至っていない。	運営推進会議の委員を通して避難訓練に近隣住民の協力が得られるよう働きかけることを期待する。 避難訓練で明らかになった反省点や課題を記録し、次回に活かすことを期待する。 災害時に備えて非常食を備蓄することを提案する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人個人の人格を尊重し、その状況に応じて傷つけないように柔軟に対応しています。	職員は利用者一人ひとりの生活歴や個性を尊重し、誇りやプライバシーに配慮した言葉かけやケアに努めている。 個人情報に関する書類は事務室の誰でも見られる場所に置いてあり、鍵のかかる書庫に保管するまでには至っていない。	個人情報に関する書類は鍵のかかる書庫に保管し、適切に管理することを提案する。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の言動を観察し、意思表示が出来る様に促す支援を行っています。	/		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人様のペースを保てる様に支援をしその希望を理解し少しでも本人の希望に添える様に支援しています。	/		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔を保ち、爪切り、口腔ケア、洗髪、散髪等の細やかな所も支援しています。	/		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	2種類からの選択メニューを選べる楽しみを持って頂いています。行事にも外食、屋外での食事にも計画しています。お茶、おしぼりの準備やテーブル拭きを手伝って頂いています。	宅配業者から納入された食材を使って調理員が調理した食事を提供している。 昼食は2種類のメニューから選択でき、食事が楽しめる工夫をするとともに、利用者の好みや状態に合わせた食事を提供している。 利用者は調理はしていないが後片付けや食器洗いを職員と一緒にしている。 行事に組み入れて外食の機会を設けている。 昼食時に音楽を流し、楽しみながら食事が摂れるようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取はバランスの摂れたメニューを準備し摂取量や水分チェック表を使い一人一人の状態を管理しています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後自力又は一部介助にて口腔ケアの支援を行い、外出時必要に応じてうがいを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間を決め排泄の誘導を行いオムツの使用を極力減らす様支援をし一人一人に合わせたパターンを理解したうえで自立に向けた介助を行っています。	排泄チェック表で利用者の排泄パターンを把握することで適切にトイレに誘導し、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、水分摂取の確保、個人で出来る運動を取り入れています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の体調、希望に合わせ、一般浴、リフト浴、機械浴を使い入浴剤等を変え気分転換して頂ける様に支援しています。	一般浴のほか機械浴やリフト浴の設備があり、利用者の状態に合わせて対応している。風呂場は安全に配慮して浴室用の椅子や手すりを設置している。柚子湯や菖蒲湯を取り入れ、季節感のある入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日休息室の清潔の確保を行い、心地良い室温で気持ち良く休まれるようにしています。そして自宅の環境に合った場所づくりを心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人個人の処方箋を把握、管理し看護師がその都度服薬を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の出来る事を手伝って頂き（できる）という自信を持って頂き楽しみを増やしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の人々の協力を頂きながら民謡や行事作りを行っています。利用者様の気分転換になる様な外出支援を心がけています。	気分転換に散歩に出かけたり、近くのショッピングセンターに少額の小遣いを持って買い物に出かけるなど、日常的に利用者の希望にそった外出支援をしている。 年間行事を計画して季節毎の花見に出かけたりドライブに出かけるなど、外出の機会を多く設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	行事の一つに買い物を入れ利用者様に少しのお金を持って頂き買う楽しみを持っていただいております。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人、職員共同で年賀状を作り出す楽しみ、頂いた人の楽しみ等の想いを巡らしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空間には季節の花、手製のカレンダー、手製の置物等を作り四季折々楽しんで頂いております。昼食事等は音楽を流し心穏やかにして頂きます。	居間には季節の花が飾られていたりソファが置かれ、利用者が自由に寛げるように支援している。 利用者の作品作りとして月末に翌月のカレンダー作りに取り組み、完成後は食堂の壁面に飾っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置いて気の合った利用者同士で話したり、カラオケを楽しめる様に支援しています。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔にし、本人様のお泊り時は好きな慣れた物を持参されたりして休まれています。夜間の室温の配慮を心掛けています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	職員の見守りの中できる事、洗濯干し又簡単な作業を一緒に行って頂いています。	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 ふれんど小規模多機能施設 結城

作成日 平成24年8月11日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期の事業所の対応方針を明文化し、利用者様、御家族様に説明する。	医療的技術を要する場合は見られない。		
2		個人情報に関する書類は鍵のかかる書庫に保管する。	日中は事務所で誰でも情報が分かるように	鍵をかけ保管できるようにする。	平成24年12月末
3		避難訓練に近隣住民の協力が得られるように働きかける。	近隣の消防の人々、高齢者の方々に声掛けし行う。	班長さん、老人会長さん、消防署の方に声掛けし協力願う。	平成24年12月末
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。